

古典芸能鑑賞の意味

“古典”という言葉には、「先人たちが作ってくれた、人が生きていくための規範」という本義があります。その意味で〈古典の日〉に古典芸能を鑑賞する喜びは、明日からの豊かな人生を約束してくれるものです。今宵は念願叶い、“語り芸”の泰斗である、女流義太夫・竹本駒之助師匠をお招きすることができました。お師匠さんの一声、一節、一息が、芸能を楽しみながら生活することの大切さを教えてください。そして嬉しいことに当寺子屋の講師でもある津賀寿師が今秋〈人間国宝〉に認定されることが決まりました。師弟での保持は芸能界でも稀な慶事。もはや「疫病退散」と祈っていた時期は過ぎ、恐らくは繰り返し起こるだろうコロナ禍での芸能継続を具体的に考える時期に入りました。今宵は〈寿福増長の基〉であるお二方の至芸に酔いしれて頂いて、将来に伝えるべき斯界の芸道を見据えて頂きたいと思います。

鈴木英一(伝承ホール寺子屋プロデューサー)

竹本駒之助 (たけもと・こまのすけ)



1949年竹本春駒に入門、竹本駒之助を名乗る。文楽の諸師匠方に師事。1953年から、後に文楽太夫の人間国宝になる四世竹本越路太夫の門人となる。1996年度第26回モービル音楽賞受賞。1999年重要無形文化財「義太夫節」各個保持者(人間国宝)に認定。2003年、紫綬褒章受章。2008年旭日小綬章受章。CD『人間国宝 女流義太夫 竹本駒之助の世界』が2009年度第64回文化庁芸術祭賞優秀賞(レコード部門)受賞。2015年「KAAT竹本駒之助公演第5弾『鎌倉三代記』八つ目切 三浦別れの段」で第70回文化庁芸術祭賞大賞(音楽部門)受賞。2017年文化功労者に選出。義太夫節保存会会長。

鶴澤津賀寿 (つるざわ・つがじゆ)



1984年竹本駒之助に入門、三味線を四代目野澤錦糸に師事。1986年に駒之助の義母鶴澤三生の幼名を次継ぎ初舞台。鶴澤重輝の預かり弟子となる。1991年義太夫協会新人奨励賞、1996年第47回芸術選奨文部大臣賞新人賞受賞。1997年第11回清栄会奨励賞受賞、1999年第4回ビクター財団賞奨励賞受賞。2009年重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者認定。2018年第7回中島勝祐創作賞受賞。2022年第52回ENEOS音楽賞(邦楽部門)受賞。今秋、重要無形文化財「義太夫三味線」各個保持者(人間国宝)に認定される。

演目解説

『仮名手本忠臣蔵』

寛延元年(1748)8月、竹本座初演。竹田出雲(二代目)・三好松洛・並木千柳の合作。赤穂浪士の仇討ちを題材にした名作。『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』とともに三大浄瑠璃といわれる。

元禄14年(1702)3月14日、勅使饗応の際に江戸城松の廊下で、浅野内匠頭が吉良上野介に刃傷に及んだ事件から、元禄15年12月14日の赤穂四十七

士の討入までの物語。当時は実際の事件をそのままに上演することをはばかられたため、世界を「太平記」に仮託、つまり時代を足利時代に設定し、場所も鎌倉として、登場人物の名前も変えてある。実際の事件から上演までちょうど47年経っているのも興味深い。

あらすじ

「殿中刃傷の段」

御殿では勅使饗応のため、能が催されることになっており、饗応役の塩冶判官が登城してきた。収賄故に若狭助に媚びた高師直は機嫌悪く、判官に対し「遅い」と言いがかりをつける。さらに判官の妻である顔世御前に横恋慕していた師直は、自分を袖にする顔世からの手紙を判官自身から渡され、激高して八つ当たりをする。あまりの悪口雑言に判官は堪忍袋の緒が切れ、刀を抜いて師直を斬りつけてしまう。師直の悪口雑言の「鮎だ、鮎だ、鮎侍だ」や、「殿中だ」と刀を抜くの止める脅し文句は有名である。温厚な判官が師直に憎々しくいたぶられ、忍耐の限界を超えていく過程が聴きどころである。

「裏門の段」

師直を斬りつけたことにより、判官は罪人の乗り物で自分の館に返され、閉門となった。その判官の近習である勘平は、主人が刃傷沙汰を起こした時に恋人の腰元おかるとの逢瀬を楽しんでいて居合わせず、武士の面目を失った。こうなってしまったからには、いっそ切腹してしまおうと勘平は考えるが、おかるに止められ、後日のお詫びの機会を待つことにした。そこへ勘平を捕えようとして師直の家来でお軽に横恋慕する鷲坂伴内が手下を引き連れて現れる。しかし勘平は伴内の手下どもを軽々とやっつけてしまう。この場の描写は前後の深刻さを緩和するように、おかしみを含んだ表現になっている。

伝承ホール寺子屋特設サイトご案内

www.shibuya-terakoya.com



いかなる状況下でも伝統芸能を繋いでいきたい。伝承ホール寺子屋特設サイトを開設いたしました。「寺子屋ってナニ?」という説明、自慢のカリキュラム紹介、過去の「渋谷金丸伝説」公演や公開講座のアーカイブなど、伝統芸能を楽しく学ぶことができる情報をアップしています。伝統芸能情報なら渋谷区発の当サイトに!ぜひご閲覧。そして、きっと内容が濃いであろう塾生専用サイトが気になる方は……来年伝承ホール寺子屋に!!

ご来場のお願



不織布マスクの着用をお願い致します
手指消毒液をご利用ください
検温を実施させていただきます

不織布マスクの着用をお願い致します。館内設置の手指消毒液をご利用ください。入場時に検温を実施させていただく予定です。37.5°C以上の発熱があった場合は、ご入場をお断りさせていただきますことをご承知ください。また、咳・咽頭痛等の症状がある場合、政府により入国制限措置を設けている国・地域から日本へ入国後、指定された待機期間を終えていない場合等はご入場をお断り致します。

